

7. 主な市町村における吸引状況

「市町村別買物場所」(資料編P76～P111)をもとに、「婦人服」、「くつ・カバン」、「家具・室内装飾品」、「一般食料品」、「外食」といった5つの商品について、吸引状況(買物出向比率=流出率)をまとめた表が「7-1表」から「7-5表」である。

また、本報告書では、買物出向比率(=吸引率)30%以上を1次商圈、10～30%未満を2次商圈、5～10%未満を影響圏と設定しているが、県内各地域の中核的な7市町について、商品分類別(前述の5商品)に1次商圈内自治体を示したのが「7-1図」から「7-5図」までとなっている。

なお、下表「7表」は、中核的な7市町村について、商品分類別に1次商圈内自治体数を示したものである。その結果、「婦人服」、「くつ・カバン」では、「那覇市」及び「名護市」が、また、「家具・室内装飾品」、「一般食料品」、「外食」では「名護市」が1次商圈に最も多くの自治体を擁していることがわかる。

7表 主な7市町における1次商圈内自治体数

(単位:自治体)

	婦人服	くつ・カバン	家具・ 室内装飾品	一般食料品	外食
那覇市	9 (4)	8 (4)	4 (1)	2 (1)	6 (3)
沖縄市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
うるま市	6 (2)	7 (2)	6 (4)	1 (1)	3 (2)
北谷町	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
名護市	9 (7)	8 (8)	8 (6)	6 (4)	8 (5)
宮古島市	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
石垣市	1 (0)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (1)

※()内は、吸引率50%以上の自治体数

※当該自治体は含まない

(1) 婦人服の吸引状況

- ①那覇市 1次商圈に、本島中南部地域及び本島周辺離島など9市町村を擁している。また、2次商圈も18市町村となっており、両者をあわせると全市町村の6割以上が含まれる結果となった。
- ②沖縄市 1次商圈に含まれている自治体はなく、2次商圈も「北中城村(20.9%)」のみとなっている。
- ③うるま市 1次商圈に、本島中北部地域の6市町村を擁し、さらに2次商圈にも2町村を含んでいる。
- ④北谷町 1次商圈に含まれている自治体はないものの、本島中部地域の6市町村を2次商圈としている。
- ⑤名護市 本島北部地域や周辺離島を中心に、1次商圈が9町村となっており、

うち 7 町村は 50%以上の吸引率となっている。ただし、2 次商圏となる市町村はない。

- ⑥宮古島市 宮古圏域において、宮古島市を除く唯一の自治体である「多良間村 (65.6%)」が 1 次商圏となっており、60%を超える吸引率となっているものの、2 次商圏となる市町村はない。
- ⑦石垣市 「竹富町 (43.3%)」が 1 次商圏、「与那国町 (26.1%)」が 2 次商圏となっている。

(2) くつ・カバンの吸引状況

- ①那覇市 1 次商圏に、沖縄本島中南部地域及び本島周辺離島など 8 市町村を擁している。また、2 次商圏についても 19 市町村を擁し、全市町村の 6 割以上が含まれる結果となった。
- ②沖縄市 沖縄市を含め 1 次商圏に該当する自治体はなく、2 次商圏についても、沖縄市を除くと「北中城村 (22.6%)」1 村のみとなっている。
- ③うるま市 本島中部地域の 7 市町村を 1 次商圏としており、2 次商圏にも 1 村を擁している。
- ④北谷町 本島中部地域の 2 町村を 1 次商圏としており、2 次商圏にも 4 市村を擁している。
- ⑤名護市 本島北部地域や周辺離島の 8 町村を 1 次商圏としており、また、「宜野座村 (26.6%)」が 2 次商圏となっている。
- ⑥宮古島市 宮古圏域において、宮古島市を除く唯一の自治体である「多良間村 (62.5%)」が 1 次商圏となっており、60%を超える吸引率となっているものの、2 次商圏となる市町村はない。
- ⑦石垣市 「竹富町 (57.8%)」が 1 次商圏、「与那国町 (28.9%)」が 2 次商圏となっている。

(3) 家具・室内装飾品の吸引状況

- ①那覇市 沖縄本島周辺離島 4 村が 1 次商圏となっており、2 次商圏にも、11 市町村が含まれている。
- ②沖縄市 1 次商圏に含まれている自治体はなく、2 次商圏には「北中城村 (24.7%)」、「北谷町 (11.9%)」の 2 町村が含まれている。
- ③うるま市 本島中部地域の 6 市町村を 1 次商圏としており、2 次商圏にも 3 町村を擁する。
- ④北谷町 「嘉手納町 (33.7%)」を 1 次商圏としており、その他、3 市村を 2 次商圏としている。

- ⑤名護市 本島北部地域や周辺離島の8町村を1次商圏としており、うち「今帰仁村(88.5%)」と「東村(83.3%)」については、吸引率が80%を超えている。2次商圏は「宜野座村(28.6%)」のみとなっている。
- ⑥宮古島市 宮古圏域において、宮古島市を除く唯一の自治体である「多良間村(53.4%)」が1次商圏となっているものの、2次商圏となる市町村はない。
- ⑦石垣市 「竹富町(53.5%)」、「与那国町(31.0%)」が1次商圏となっている。2次商圏となる市町村はない。

(4) 一般食料品の吸引状況

- ①那覇市 1次商圏は、「座間味村(53.6%)」、「粟国村(42.7%)」の2村となっており、2次商圏は本島周辺離島及び近隣自治体など3市村となっている。
- ②沖縄市 「北中城村(36.2%)」が1次商圏となっており、「北谷町(11.2%)」、「嘉手納町(10.4%)」の2町が2次商圏となっている。
- ③うるま市 「恩納村(69.3%)」が1次商圏となっており、本島中北部地域の4市町村が2次商圏となっている。
- ④北谷町 1次商圏及び2次商圏に他の自治体は含まれていない。
- ⑤名護市 本島北部地域や周辺離島の5村を1次商圏としており、2次商圏にも3村が含まれている。
- ⑥宮古島市 1次商圏及び2次商圏に他の自治体は含まれていない。
- ⑦石垣市 「竹富町(63.3%)」が1次商圏、「与那国町(10.7%)」が2次商圏となっている。

(5) 外食の吸引状況

- ①那覇市 1次商圏には本島周辺離島を中心に6市村が含まれており、また、本島中南部地域を中心に14市町村が2次商圏となっている。
- ②沖縄市 1次商圏は「北中城村(39.0%)」のみとなっており、2次商圏は「伊是名村(18.2%)」、「中城村(13.4%)」の2村となっている。
- ③うるま市 1次商圏に本島中部地域の3町村、2次商圏に「沖縄市(25.3%)」など5市町村を擁している。
- ④北谷町 1次商圏に該当する市町村はなく、2次商圏に4市町村を擁している。
- ⑤名護市 1次商圏に本島北部地域や周辺離島の8町村、2次商圏に「宜野座村(15.0%)」、「金武町(10.6%)」の2町村を擁している。
- ⑥宮古島市 1次商圏に該当する市町村はないものの、「多良間村(17.9%)」が2次商圏となっている。

⑦石垣市 「竹富町（54.8%）」が1次商圈となっている。2次商圈に該当する市町村はない。

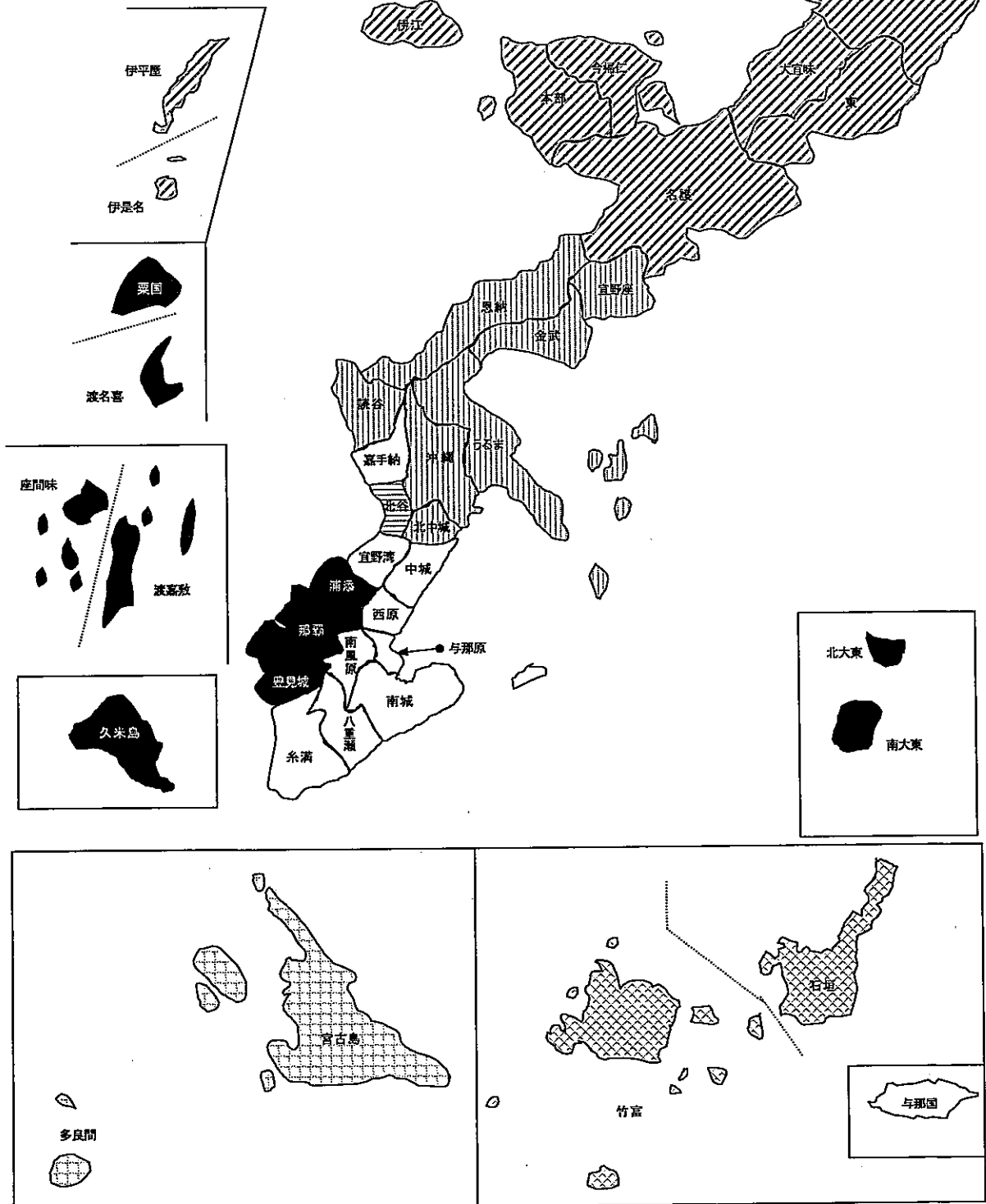
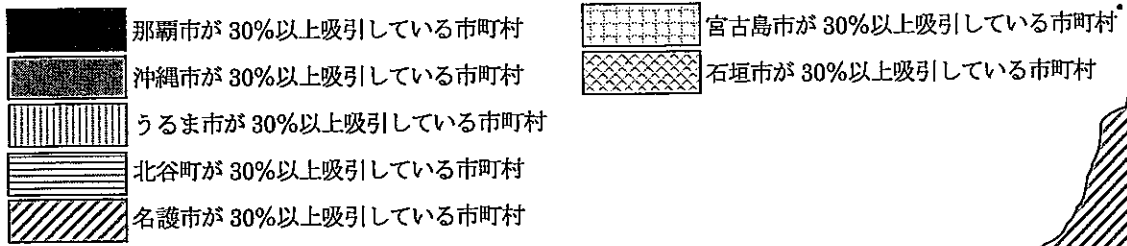
7-1表 主な市町村における吸引状況(婦人服)

(単位:%)

区分	吸引率	1次商圏			2次商圏		影響圏	
		80%以上	50~80%未満	30~50%未満	10~30%未満		5~10%未満	
南 部 圏	那覇市	(那覇市 81.9)	南大東村 72.7 渡嘉敷村 69.9 座間味村 69.7 粟国村 59.4	浦添市 41.0 久米島町 34.4 渡名喜村 32.3 北大東村 32.2 豊見城市 31.1	糸満市 27.4 南風原町 25.1 与那原町 24.8 宜野湾市 22.0 国頭村 21.9 嘉手納町 20.8 八重瀬町 19.6 伊平屋村 19.5 宜野座村 17.3 大宜味村 16.2 西原町 15.2 与那国町 14.0 多良間村 13.5 南城市 13.0 石垣市 11.6 中城村 11.1 沖縄市 10.7 伊江村 10.3	名護市 9.9 東村 9.6 伊是名村 8.7 北谷町 8.3 読谷村 7.9 金武町 6.6 本部町 6.6 宮古島市 6.4 今帰仁村 6.3 恩納村 5.7 北中城村 5.4		
	浦添市			(浦添市 48.7)	伊平屋村 24.2 伊是名村 18.1 北大東村 16.2	渡名喜村 8.6 座間味村 8.3 宜野湾市 7.3		
	豊見城市			(豊見城市 49.2) 渡名喜村 31.4	八重瀬町 22.3 糸満市 15.3 粟国村 11.9	那覇市 5.5 座間味村 5.5		
	糸満市			(糸満市 49.8)	八重瀬町 12.2			
	南風原町		(南風原町 58.6)	南城市 39.7 八重瀬町 35.5	与那原町 24.0 久米島町 14.8 豊見城市 11.2 西原町 10.8	渡名喜村 7.1 座間味村 5.7		
	沖縄市			(沖縄市 30.4)	北中城村 20.9	中城村 7.0 嘉手納町 6.0		
	うるま市	(うるま市 90.3)	金武町 76.5 恩納村 74.0	読谷村 45.1 沖縄市 44.9 北中城村 44.1 宜野座村 37.3	嘉手納町 28.2 中城村 17.7	北谷町 8.6 宜野湾市 5.0		
	北谷町		(北谷町 70.7)		読谷村 27.7 嘉手納町 27.6 宜野湾市 24.2 伊是名村 14.1 北中城村 14.1 恩納村 11.3	中城村 8.6 沖縄市 6.4 東村 5.2		
	西原町		(西原町 64.2)	中城村 39.1 与那原町 36.2	南城市 24.6 宜野湾市 11.5	南風原町 6.2		
	北 部 圏	名護市	(名護市 81.4) 今帰仁村 80.7	東村 78.7 伊江村 68.4 大宜味村 59.1 本部町 54.6 国頭村 53.3 伊平屋村 52.9	伊是名村 48.2 宜野座村 35.3		金武町 9.9 渡名喜村 5.7	
		宮古島市	(宮古島市 89.5)	多良間村 65.6				
	山八 圏重	石垣市	(石垣市 80.8)		竹富町 43.3	与那国町 26.1		

※一覧表については、資料編(P76、P77)を参照して下さい。

7-1図 主要市別吸引状況（婦人服）



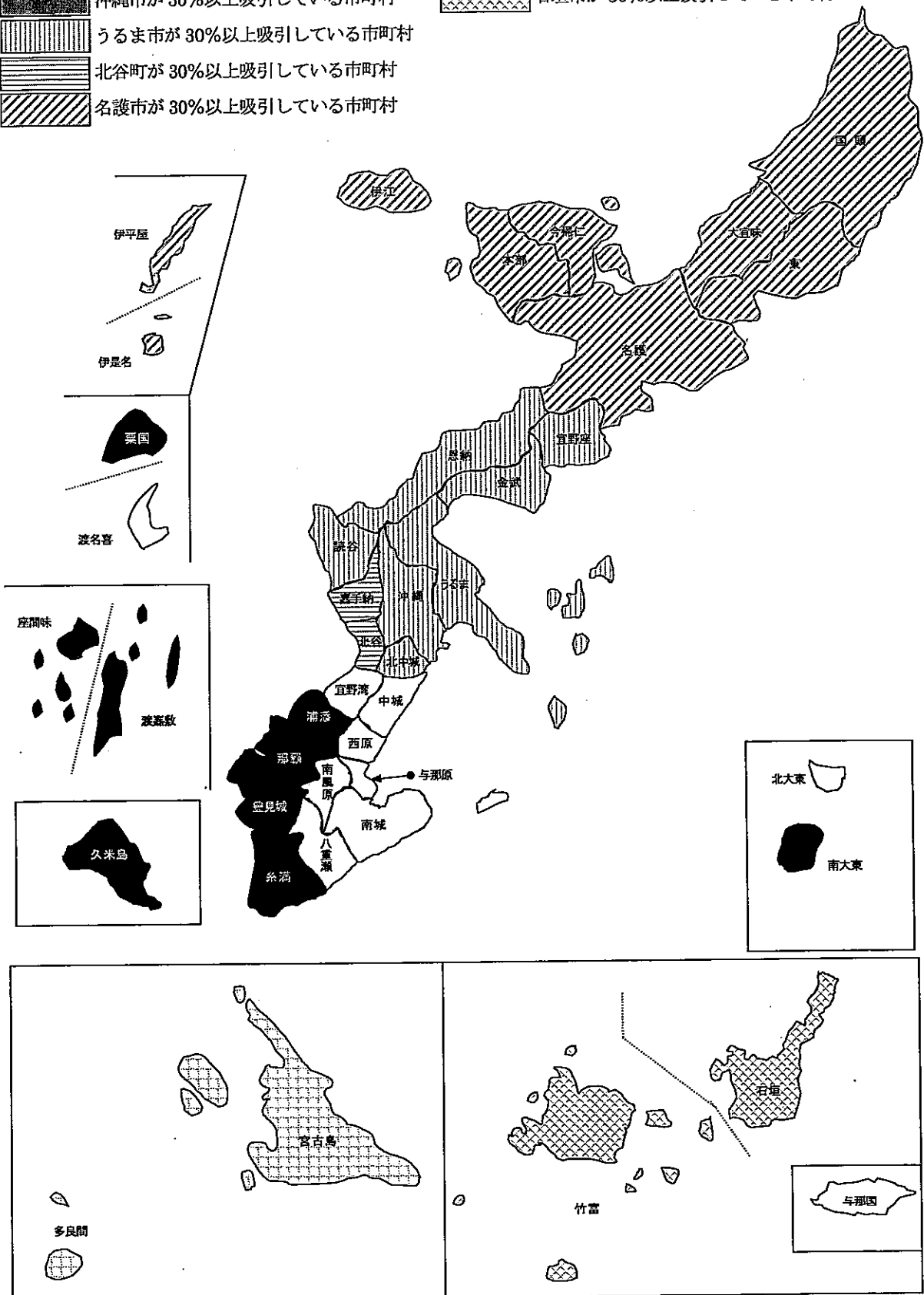
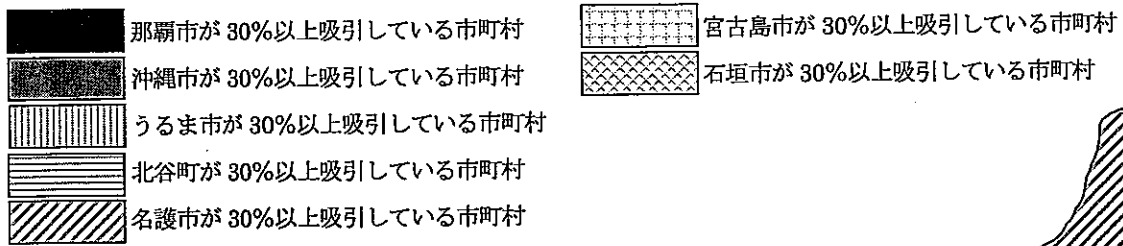
7-2表 主な市町村における吸引状況(くつ・カバン)

(単位:%)

区分	吸引率	1次商圏			2次商圏		影響圏	
		80%以上	50~80%未満	30~50%未満	10~30%未満		5~10%未満	
南 部 圏	那覇市	(那覇市 84.5)	渡嘉敷村 77.8 座間味村 61.0 粟国村 59.2 南大東村 52.2	久米島町 46.3 浦添市 42.8 豊見城市 36.2 糸満市 31.3	渡名喜村 26.5 北大東村 25.9 南風原町 25.3 国頭村 24.7 宜野湾市 24.2 伊平屋村 23.3 八重瀬町 20.4 嘉手納町 17.0 多良間村 16.6 中城村 15.5 与那原町 15.4 今帰仁村 14.6 南城市 13.5 東村 13.1 与那国町 12.3 沖縄市 12.1 大宜味村 12.0 西原町 11.8 宜野座村 11.7	読谷村 8.5 名護市 7.9 石垣市 7.3 伊江村 6.5 北谷町 5.9 北中城村 5.8 本部町 5.6 金武町 5.4		
	浦添市			(浦添市 49.3)	伊平屋村 18.3 伊是名村 13.4 北大東村 13.0	渡名喜村 7.5 宜野湾市 7.1 南大東村 6.1		
	豊見城市			(豊見城市 47.5)	渡名喜村 29.2 八重瀬町 19.0 糸満市 16.5 粟国村 15.4 南大東村 12.1	南風原町 5.5		
	糸満市			(糸満市 46.3)	八重瀬町 13.2			
	南風原町		(南風原町 58.4)	南城市 39.4 八重瀬町 35.7	渡名喜村 25.0 与那原町 23.6 久米島町 14.8	豊見城市 8.2 西原町 8.0 南大東村 5.4		
	沖縄市				(沖縄市 28.2) 北中城村 22.6			
	うるま市	(うるま市 89.8)	金武町 79.1 恩納村 71.5	沖縄市 45.9 宜野座村 45.5 読谷村 43.5 北中城村 41.8 嘉手納町 34.3	中城村 20.9	北谷町 6.2		
	宜野湾市				(宜野湾市 22.7)	座間味村 9.4 渡嘉敷村 5.6		
	北谷町		(北谷町 77.7)	嘉手納町 34.4 読谷村 31.3	宜野湾市 23.5 北中城村 19.1 恩納村 12.6 伊是名村 11.7	中城村 8.6 沖縄市 7.0 宜野座村 5.5		
	西原町		(西原町 70.8)	中城村 35.0 与那原町 34.7	南城市 25.3 宜野湾市 13.4			
北 部 圏	名護市	(名護市 85.7)	東村 79.7 今帰仁村 76.0 伊江村 73.7 大宜味村 65.0 本部町 63.6 伊是名村 63.2 国頭村 53.6 伊平屋村 53.4		宜野座村 26.6	金武町 6.0 渡名喜村 5.0		
	宮古島市	(宮古島市 92.8)	多良間村 62.5					
山八 圏重	石垣市	(石垣市 85.5)	竹富町 57.8		与那国町 28.9			

※一覧表については、資料編(P86、P87)を参照して下さい。

7-2図 主要市別吸引状況 (くつ・カバン)



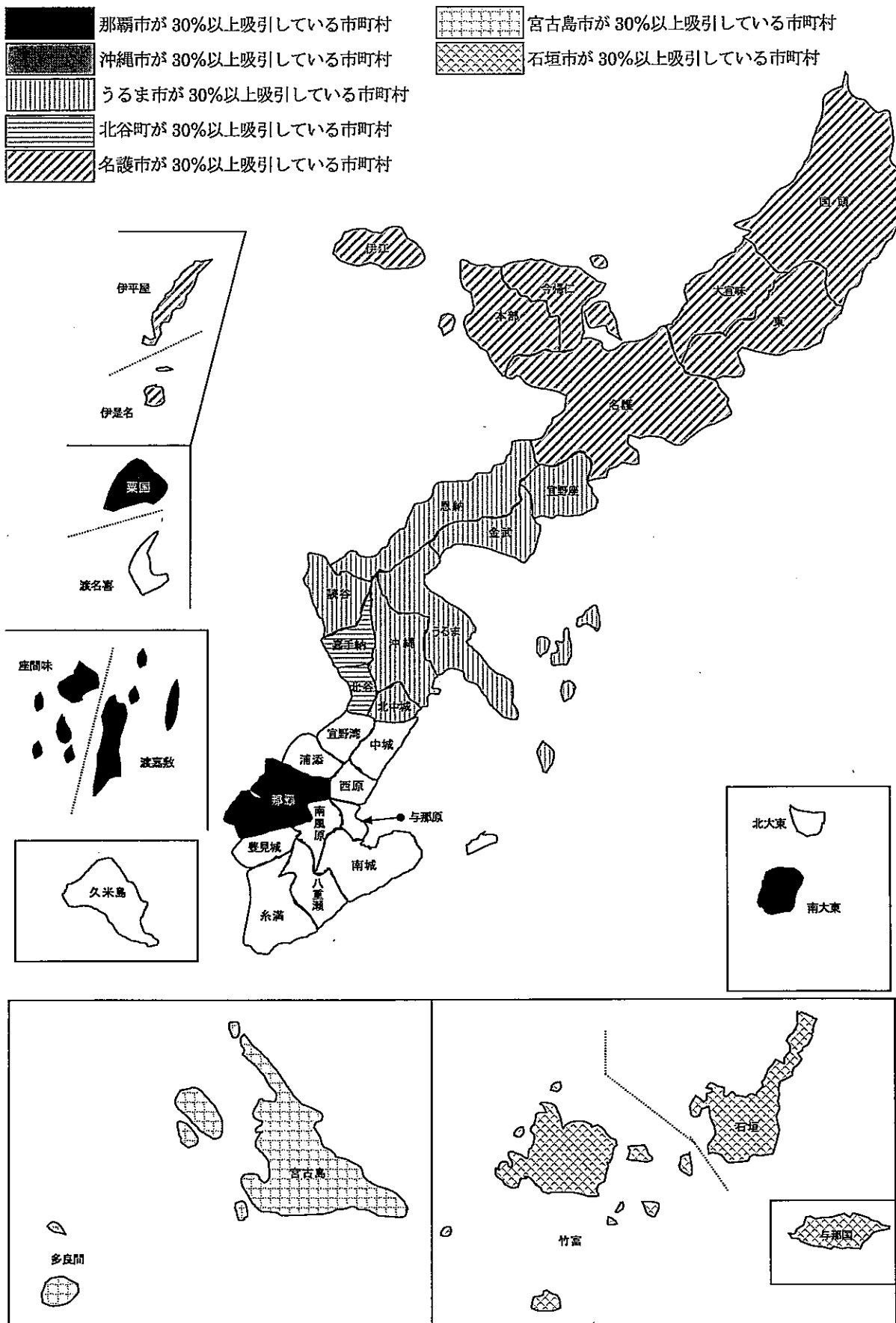
7-3表 主な市町村における吸引状況(家具・室内装飾品)

(単位:%)

区分	吸引率	1次商圈			2次商圈		影響圏		
		80%以上	50~80%未満	30~50%未満	10~30%未満		5~10%未満		
南部圏	那覇市		(那覇市 73.5) 渡嘉敷村 51.2	粟国村 42.9 南大東村 40.7 座間味村 40.0	北大東村 26.1 浦添市 26.0 伊平屋村 25.9 豊見城市 22.8 国頭村 20.7 渡名喜村 20.9 糸満市 19.5 久米島町 16.8 八重瀬町 15.8 多良間村 13.2 宜野湾市 10.7	南風原町 9.1 東村 8.3 与那原町 6.6 西原町 6.5 今帰仁村 6.4 伊是名村 5.5 嘉手納町 5.3 南城市 8.5			
	浦添市		(浦添市 56.6)		伊平屋村 29.7 北大東村 21.9 伊是名村 14.0	宜野湾市 8.4 粟国村 5.7 渡名喜村 5.0			
	豊見城市			(豊見城市 49.2) 粟国村 35.7	南大東村 27.8 八重瀬町 24.4 渡名喜村 18.8 渡嘉敷村 15.0 糸満市 12.5 座間味村 10.0				
	糸満市			(糸満市 47.6)			八重瀬町 9.4		
	南風原町		(南風原町 79.5)	南城市 47.3 渡名喜村 43.8 八重瀬町 36.2 与那原町 32.3	豊見城市 17.9 久米島町 14.3 糸満市 12.4	那覇市 9.9 西原町 8.3 座間味村 6.8 多良間村 6.8 浦添市 5.6 渡嘉敷村 5.0			
中部圏	沖縄市			(沖縄市 35.2)	北中城村 24.7 北谷町 11.9	嘉手納町 9.6 大宜味村 9.1 読谷村 9.1 宜野湾市 6.3 うるま市 6.2 中城村 6.2 本部町 5.0			
	うるま市	(うるま市 91.1) 金武町 82.4 恩納村 80.6	北中城村 53.0 宜野座村 51.2	沖縄市 48.3 読谷村 45.5	嘉手納町 28.4 中城村 25.0 北谷町 12.0	東村 8.3 宜野湾市 8.2			
	宜野湾市				(宜野湾市 22.5)	南大東村 5.6			
	北谷町		(北谷町 66.7)	嘉手納町 33.7	読谷村 23.8 宜野湾市 21.7 伊是名村 13.8	恩納村 9.5 北中城村 7.7 宜野座村 6.5 沖縄市 6.1 渡嘉敷村 5.0			
	西原町		(西原町 70.8)	中城村 45.9 与那原町 39.8	南城市 17.1 宜野湾市 14.2	北中城村 6.8 多良間村 6.6			
北部圏	名護市	今帰仁村 88.5 (名護市 86.5) 東村 83.3	大宜味村 77.3 伊江村 70.8 本部町 63.6 国頭村 57.4	伊是名村 41.7 伊平屋村 33.3	宜野座村 28.6	金武町 7.4 渡名喜村 5.0			
宮古圏	宮古島市	(宮古島市 96.2)	多良間村 53.4						
山八圏重	石垣市	(石垣市 89.0)	竹富町 53.5	与那国町 31.0					

※一覧表については、資料編(P92、P93)を参照して下さい。

7-3 図 主要市別吸引状況（家具・室内装飾品）



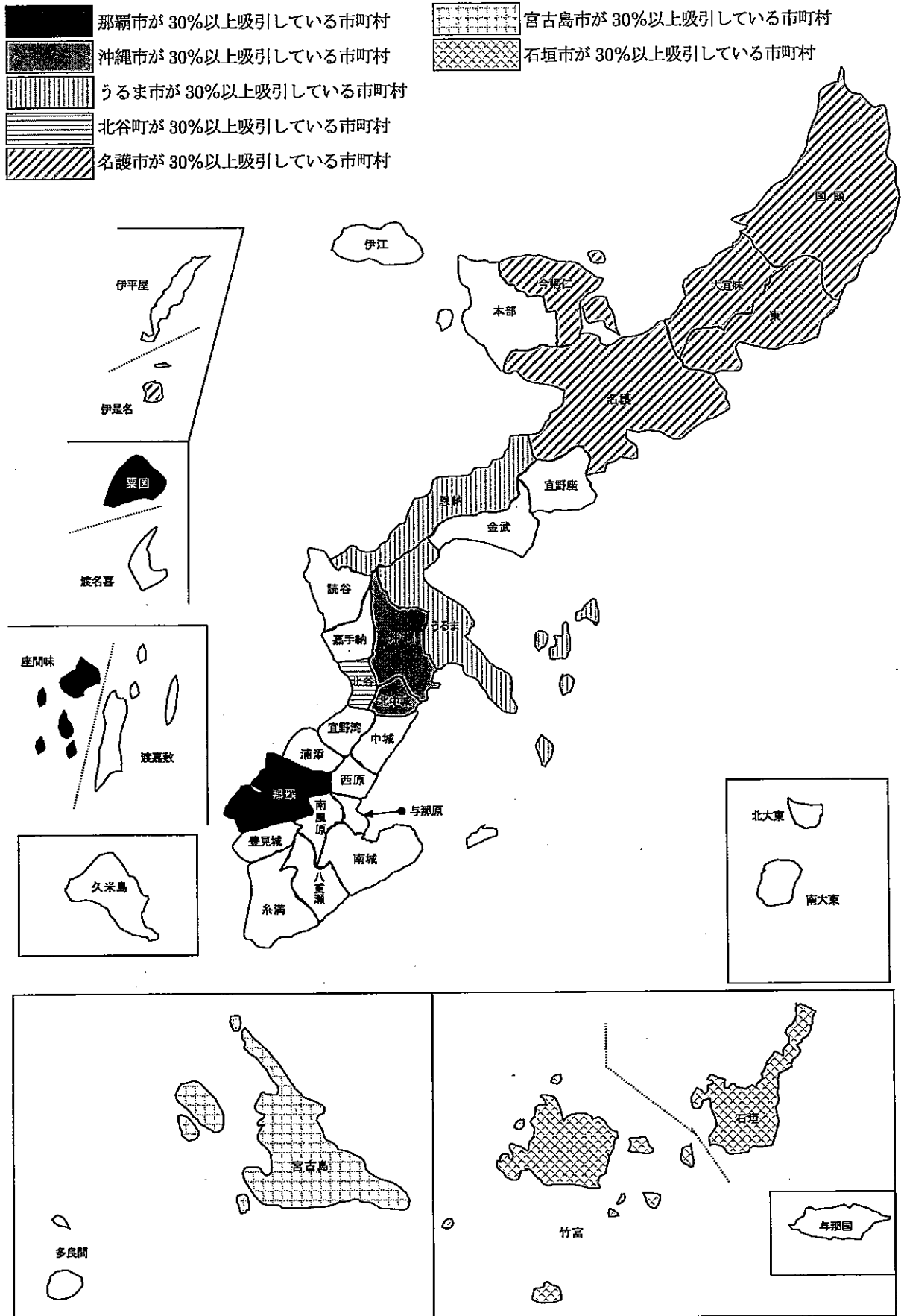
7-4表 主な市町村における吸引状況(一般食料品)

(単位:%)

区分	吸引率	1次商圏			2次商圏 10~30%未満	影響圏 5~10%未満
		80%以上	50~80%未満	30~50%未満		
南部圏	那覇市	(那覇市 87.1)	座間味村 53.6	粟国村 42.7	渡嘉敷村 19.4 渡名喜村 17.5 浦添市 13.6	西原町 8.2 南大東村 7.3 豊見城市 6.9 伊是名村 6.8 多良間村 6.3
	浦添市	(浦添市 83.5)			北大東村 16.2 伊是名村 15.1 伊平屋村 11.6 宜野湾市 10.4	渡名喜村 7.5
	糸満市	(糸満市 82.9)				八重瀬町 8.9
	豊見城市		(豊見城市 76.6)		粟国村 16.7 渡名喜村 14.5 八重瀬町 11.0	糸満市 9.7
	南風原町	(南風原町 82.3)			南城市 23.6 渡名喜村 18.8 与那原町 17.6 八重瀬町 15.0	豊見城市 7.9 西原町 6.9
中部圏	沖縄市		(沖縄市 65.7)	北中城村 36.2	北谷町 11.2 嘉手納町 10.4	伊是名村 7.6 中城村 7.4
	うるま市	(うるま市 94.0)	恩納村 69.3		金武町 29.8 沖縄市 21.7 北中城村 18.1 宜野座村 14.0	読谷村 9.8 嘉手納町 7.0 中城村 5.3
	宜野湾市		(宜野湾市 73.0)		北中城村 15.0 中城村 12.2	
	北谷町	(北谷町 81.9)				嘉手納町 6.6 北中城村 5.9
	西原町		(西原町 59.8)		中城村 24.6 与那原町 14.4	南城市 8.0 宜野湾市 5.2
北部圏	名護市	(名護市 97.1) 東村 95.8	大宜味村 69.7 国頭村 56.1 伊是名村 53.7	今帰仁村 44.4	宜野座村 17.4 本部町 16.5 伊江村 12.9	渡名喜村 5.0
宮古圏	宮古島市	(宮古島市 98.9)				
山八圏重	石垣市	(石垣市 98.4)	竹富町 63.3		与那国町 10.7	

※一覧表については、資料編(P102、P103)を参照して下さい。

7-4図 主要市別吸引状況（一般食料品）



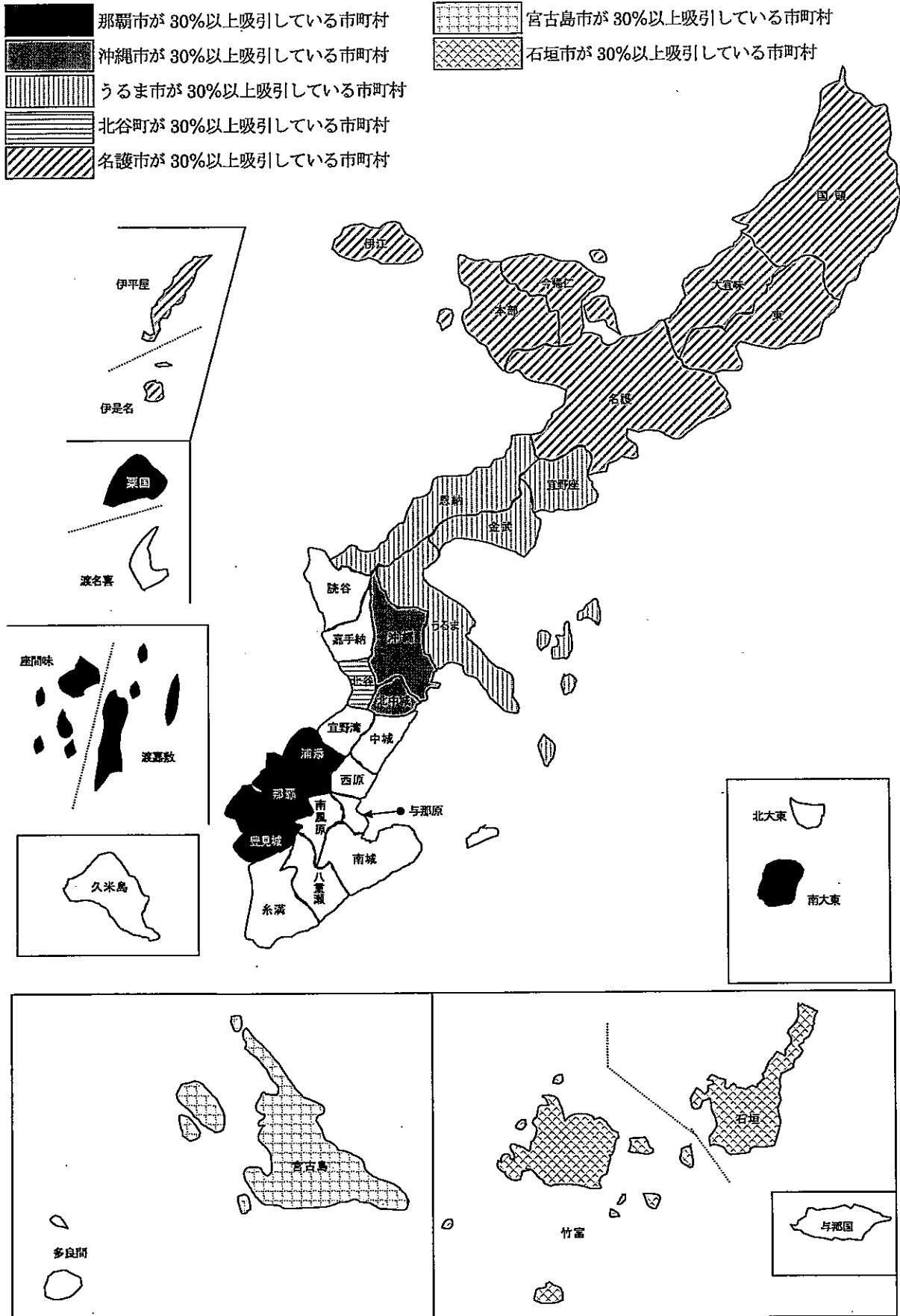
7-5表 主な市町村における吸引状況(外食)

(単位:%)

区分	吸引率	1次商圏			2次商圏		影響圏		
		80%以上	50~80%未満	30~50%未満	10~30%未満		5~10%未満		
南 部 圏	那覇市	(那覇市 86.8)	座間味村 61.9 渡嘉敷村 60.4 粟国村 50.8	南大東村 39.8 浦添市 36.1 豊見城市 33.7	北大東村 25.9 伊平屋村 23.3 糸満市 22.5 与那国町 20.8 伊是名村 19.6 八重瀬町 18.8 国頭村 18.5 南風原町 17.9 宜野湾市 15.9 渡名喜村 15.0 西原町 13.2 与那原町 11.9 南城市 11.3 多良間村 10.7	宜野座村 9.8 久米島町 8.3 沖繩市 7.3 嘉手納町 7.3 大宜味村 6.8			
	浦添市		(浦添市 56.7)		伊是名村 19.0 北大東村 18.6 伊平屋村 13.3	宜野湾市 8.3 座間味村 7.1 渡名喜村 5.0 南大東村 5.0			
	糸満市		(糸満市 62.1)		八重瀬町 14.6				
	豊見城市		(豊見城市 50.5)		八重瀬町 25.3 渡名喜村 23.3 粟国村 20.8 糸満市 10.7				
	南風原町		(南風原町 74.6)	南城市 39.6	八重瀬町 25.8 与那原町 21.2 渡名喜村 18.8 南大東村 13.4	豊見城市 8.0 久米島町 6.7 西原町 6.4			
	中 部 圏	沖繩市		(沖繩市 53.7)	北中城村 39.0	伊是名村 18.2 中城村 13.4	北谷町 9.0 うるま市 8.3 恩納村 8.3 読谷村 7.4 宜野座村 5.5 金武町 5.4		
		うるま市	(うるま市 85.2)	恩納村 60.1 金武町 56.7	宜野座村 34.3	沖繩市 25.3 北中城村 25.2 読谷村 20.7 中城村 18.7 嘉手納町 15.6	北谷町 5.3		
		宜野湾市			(宜野湾市 47.8)		中城村 9.7 北中城村 7.2		
		北谷町		(北谷町 79.3)		読谷村 29.4 嘉手納町 28.4 宜野湾市 13.9 恩納村 13.3	北中城村 8.9 宜野座村 8.5 沖繩市 7.9		
		西原町		(西原町 67.6)	中城村 33.2	与那原町 22.5 南城市 19.0	宜野湾市 6.5		
北 部 圏	名護市	(名護市 91.7)	東村 78.0 今帰仁村 56.2 大宜味村 53.7 伊江村 53.5 伊平屋村 53.4	本部町 37.9 伊是名村 36.4 国頭村 34.9	宜野座村 15.0 金武町 10.6				
宮 古 圏	宮古島市	(宮古島市 97.6)			多良間村 17.9				
山 八 圏 重	石垣市	(石垣市 97.2)	竹富町 54.8			与那国町 8.3			

※一覧表については、資料編(P108、P109)を参照して下さい。

7-5 図 主要市別吸引状況（外食）



8. 主な市町村における購買人口

今回調査した商品のうち、買回品6品目（婦人服、紳士服、子供服、呉服・寝具、シャツ・下着類、くつ・カバン）の平均買物出向比率（資料編P112、P113）を用い、買回品における吸引元自治体の購買人口及び吸引力指数を算出し、購買人口の上位12位までを抽出したのが下表である。

8表 主要市町村における購買人口等(買回品総合)

市町村名	今回調査結果					前回調査(平成19年度)				
	購買人口 (人)	行政人口 (人)	吸引力 指数	地元 購買率 (%)	1次商圏 自治体数	購買人口 (人)	行政人口 (人)	吸引力 指数	地元 購買率 (%)	1次商圏 自治体数
那覇市	415,167	315,530	1.32	82.2	7	441,643	313,728	1.41	85.9	10
うるま市	236,172	115,961	2.04	92.4	7	216,132	114,038	1.90	92.1	5
名護市	85,852	61,048	1.41	87.3	9	94,336	60,427	1.56	90.5	9
北谷町	82,857	27,564	3.01	77.4	1	108,270	27,134	3.99	71.2	3
南風原町	82,549	35,455	2.33	67.7	2	81,739	34,474	2.37	64.6	3
浦添市	79,326	109,853	0.72	52.9	0	65,170	107,779	0.60	50.5	0
西原町	70,456	34,758	2.03	71.0	2	57,151	34,337	1.66	55.9	2
豊見城市	66,252	57,116	1.16	51.8	0	68,929	54,253	1.27	43.1	0
宮古島市	49,292	52,181	0.94	92.2	1	52,240	52,719	0.99	96.9	1
沖縄市	47,380	130,582	0.36	27.6	0	52,068	128,047	0.41	32.7	0
石垣市	42,256	46,922	0.90	85.0	1	46,919	46,292	1.01	90.3	2
糸満市	37,802	57,135	0.66	52.6	0	35,001	56,053	0.62	49.5	0

※1 購買人口は、各市町村の行政人口に買物出向比率(=地元購買率、流出率)を乗じて算出したものであり、傾向をみるために便宜的に算出した。

※2 行政人口は、平成22年9月1日現在の県推計人口(県企画部統計課)を参照

※3 吸引力指数=購買人口/行政人口

※4 1次商圏自治体数は、買物出向比率(=流出率)が30%以上の自治体数とし、当該自治体は含めていない。

集計の結果、購買人口の最も多い自治体は「那覇市」の415,167人となっており、次いで「うるま市」の236,172人、「名護市」の85,852人となった。名護市は前回調査において4位であったが、前回3位の北谷町が購買人口を大幅に減らしたことから、今回の調査では3位に浮上している。

前回調査時からの購買人口数の変動をみてみると、増加している市町村については、「うるま市」の20,040人が最大となっており、次いで「浦添市」が14,156人、「西原町」が13,305人の増加となっている。また、減少している市町村については、那覇市の▲26,476人が最大となっており、次いで北谷町が▲25,413人、名護市が▲8,484人となっている。

自治体の吸引力を示す吸引力指数については、「北谷町」が3.01で、前回調査時の3.99から減少したものの、他の自治体を引き離して最大値を示した。それに続くのが、「南風原町」の2.33、「うるま市」の2.04となっている。

広域型の大型ショッピングセンターや大型量販店ができた市町村については購買人口が増加傾向にあり、当該自治体の地元購買率の上昇は当然のことながら、周辺自治体住民の購買動向にも大きな影響を及ぼしたと考えられる。

9. 主な自治体の吸引状況

(1) 沖縄本島中部地域における主な自治体の吸引状況

前回調査報告において、「沖縄市」の吸引力低下や「うるま市」の吸引力上昇など本島中部地域における生活者の購買行動の変化についてふれたが、今回調査では以下のとおりとなっている。

「沖縄市」については、多くの品目において1次・2次商圏数が前回調査を下回っており、購買人口、吸引力指数も共に低下していることから、吸引力は引き続き低下しているとみられる。

逆に「うるま市」については、購買人口、吸引力指数も共に増加する等、県内自治体でもトップクラスの吸引力を誇っている。

「北谷町」については、中部地域の自治体の中でも、依然として吸引力が高いことには変わりはないが、大型ショッピングセンターが県内全域に相次いで新規出店したこともあり、購買人口、吸引力指数が共に低下するなど、北谷町へ流入していた顧客が他の自治体に分散していることがうかがえる。

「西原町」については、前述のとおり、今回の調査において3位となる13,305人の購買人口の増加があり、吸引力指数も1.66%から2.03%に増加するなど、吸引力の向上がうかがえる。

9-(1)-1 表 購買人口及び吸引力指数

		H19年度	H22年度
沖縄市	購買人口	52,068	47,380
	吸引力指数	0.41	0.36
うるま市	購買人口	216,132	236,172
	吸引力指数	1.90	2.04
宜野湾市	購買人口	32,168	31,061
	吸引力指数	0.35	0.33
北谷町	購買人口	108,270	82,857
	吸引力指数	3.99	3.01
西原町	購買人口	57,151	70,456
	吸引力指数	1.66	2.03

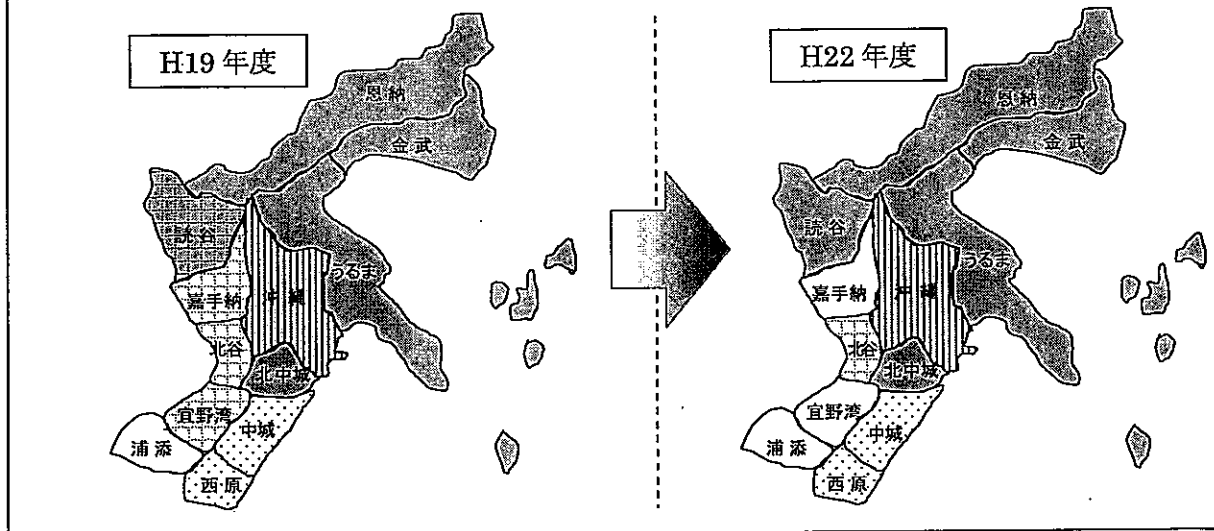
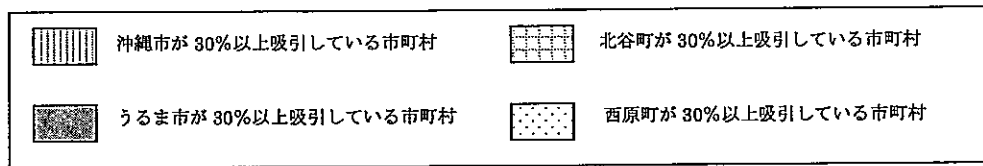
9-(1)-2 表 中部地域の主な自治体における商圏内自治体数 (単位:自治体)

		婦人服		くつ・カバン		家具・室内装飾品		一般食料品		外食	
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
沖縄市	1次商圏	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
	2次商圏	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3
	合計	1	1	1	1	2	3	3	2	3	4
うるま市	1次商圏	6	5	7	5	6	5	1	1	3	2
	2次商圏	2	4	1	4	3	4	4	3	5	4
	合計	8	9	8	9	9	9	5	4	8	6
宜野湾市	1次商圏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2次商圏	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1
	合計	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1
北谷町	1次商圏	0	3	2	3	1	2	0	0	0	2
	2次商圏	6	2	4	2	3	3	0	3	4	2
	合計	6	5	6	5	4	5	0	3	4	4
西原町	1次商圏	2	2	2	2	2	2	0	1	1	1
	2次商圏	2	1	2	1	2	1	2	1	2	2
	合計	4	3	4	3	4	3	2	2	3	3

※当該自治体は含まない

※1次商圏=吸引力30%以上、2次商圏=吸引力10~30%未満

9-(1)-1 図 中部地域の吸引状況 [買回品 (婦人服)]



上図「9-(1)-1 図」は、「買回品 (婦人服)」における、中部地域の主な市町村の吸引状況を示している。上図及び前述「7-1 表」から、他の自治体から 30%以上を吸引している中部地域の自治体は、「うるま市」、「西原町」の 2 市町であることがわかる。

「沖縄市」については、1 次商圈とする他の自治体はなく、2 次商圈についても「北中城村」のみである。また、「沖縄市」から「うるま市」への流出割合は、44.9%となっており、「うるま市」の 1 次商圈となっている。

「うるま市」は、「恩納村」、「金武町」、「沖縄市」、「読谷村」、「北中城村」、「宜野座村」の 6 市町村を 1 次商圈としており、また、2 次商圈には、「嘉手納町」、「中城村」と中部地域を中心に広範囲に渡る商圈を形成している。図からもわかるように、「うるま市」の商圈は本島東側だけでなく、西側にまで広がっている。

「北谷町」は、前回調査においては 3 市町村を 1 次商圈としていたが、今回調査においては 1 次商圈とする他の自治体がなくなり、「読谷村」、「嘉手納町」、「宜野湾市」、「伊是名村」、「北中城村」、「恩納村」の 6 市町村を 2 次商圈としている。

「西原町」は、「中城村」、「与那原町」の 2 町村が前回調査と同様に 1 次商圈となっており、2 次商圈は「南城市」、「宜野湾市」の 2 市となっている。

(2) 沖縄本島南部地域における主な自治体の吸引状況

前回調査報告においてもふれたように、本島南部地域においても、大型ショッピングセンターの出店が要因と考えられる商業環境の変化がみられる。後述する「那覇市」を除く本島南部地域の調査結果は以下のとおりになっている。

「豊見城市」については、購買人口、吸引力指数共にやや減少しているものの、1次商圈・2次商圈となっている周辺市町村は依然として多く、高い吸引力を誇っている。

「糸満市」については、前回調査時と同様、購買人口及び吸引力指数が上昇しており、本島南部市町村を中心に吸引力が高まっていると思われる。

「南風原町」については、購買人口はやや増加しているものの、その増加率が行政人口の増加率を下回っていることから、吸引力指数は平成19年度2.37から平成22年度は2.33とわずかに低下している。

ただし、吸引力指数2.33は全体で2位の数値となっており、高い吸引力を誇っている。

「南城市」は、購買人口、吸引力指数共に増加しているものの、近隣の南風原町や豊見城市と比較するといずれも低い。南城市における買物者は、南風原町や那覇市等に多く吸引されている。

9-(2)-1表 購買人口及び吸引力指数

		H19年度	H22年度
那覇市	購買人口	441,643	415,167
	吸引力指数	1.41	1.32
豊見城市	購買人口	68,929	66,252
	吸引力指数	1.27	1.16
糸満市	購買人口	35,001	37,802
	吸引力指数	0.62	0.66
南風原町	購買人口	81,739	82,549
	吸引力指数	2.37	2.33
南城市	購買人口	5,286	6,345
	吸引力指数	0.13	0.16

9-(2)-2表 南部地域の主な自治体における商圈内自治体数

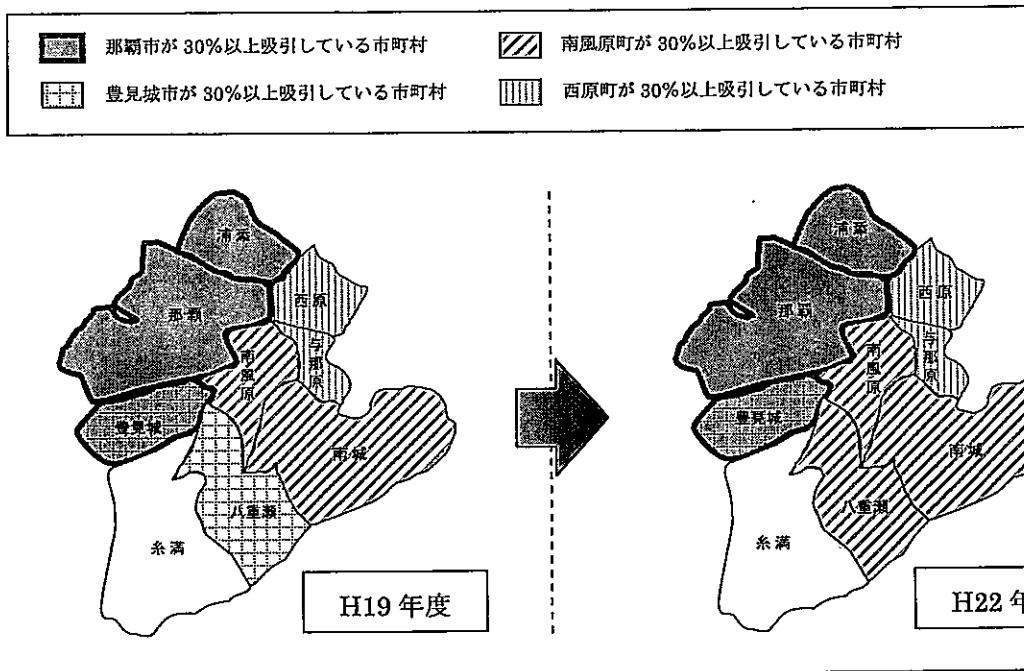
(単位：自治体)

		婦人服		くつ・カバン		家具・室内装飾品		一般食料品		外食	
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
那覇市	1次商圈	9	10	8	12	4	9	2	6	6	9
	2次商圈	18	18	19	18	11	7	3	4	14	10
	合計	27	28	27	30	15	16	5	10	20	19
豊見城市	1次商圈	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	2次商圈	3	4	5	7	6	6	3	3	4	3
	合計	4	5	5	7	7	6	3	3	4	3
糸満市	1次商圈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2次商圈	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1
	合計	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1
南風原町	1次商圈	2	1	2	1	4	3	0	0	1	2
	2次商圈	4	5	3	4	3	3	4	5	4	5
	合計	6	6	5	5	7	6	4	5	5	7
南城市	1次商圈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2次商圈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※当該自治体は含まない

※1次商圈＝吸引率30%以上、2次商圈＝吸引率10～30%未満

9 - (2) - 1 図 南部地域の吸引状況 [買回品 (婦人服)]



上図「9 - (2) - 1 図」は、「買回品 (婦人服)」における南部地域 (西原町を含む。)の主な市町村の吸引状況を示している。前回調査 (平成 19 年度) においては、本島南部の他の自治体から 30%以上吸引している南部地域の自治体は「那覇市」、「南風原町」、「豊見城市」、「西原町」の 4 市町村となっていたが、前回調査では豊見城市の 1 次商圈であった「八重瀬町」が今回調査では「南風原町」の 1 次商圈となったため、他の自治体から 30%以上吸引している自治体は「那覇市」、「南風原町」、「西原町」の 3 市町となっている。

「豊見城市」は本島南部において 1 次商圈となる他の自治体はなくなったものの、「渡名喜村」を 1 次商圈としており、また、「八重瀬町」、「糸満市」、「粟国村」の 3 市町村を 2 次商圈としている。

「南風原町」は 1 次商圈として、「南城市」、「八重瀬町」を擁しており、2 次商圈についても「与那原町」、「久米島町」、「豊見城市」、「西原町」の 4 市町を擁している。

前回調査と同様、大型ショッピングセンターの進出により、かつては那覇市に集中していた購買動向が「豊見城市」、「南風原町」、「西原町」、「糸満市」に分散しており、購買動向の郊外化、分散化がみられる。

(3) 那覇市の吸引状況

下の「9-(3)-1表」は、那覇市の購買人口及び吸引力指数の推移を、「9-(3)-2表」は、那覇市の「婦人服」、「買回品総合(婦人服、紳士服、子供服、呉服・寝具、シャツ・下着類、くつ・カバンの6品目の平均吸引率)」における吸引率の前回調査(平成19年度)との比較を示している。

那覇市の購買人口の推移をみると、平成16年度457,764人を直近ピークとして、平成19年度は441,643人、今回

調査では415,167人と減少している。吸引力指数についても平成16年度1.47を直近ピークに平成19年度1.41、今回調査では1.32へと減少している。

9-(3)-1表 那覇市の購買人口及び吸引力指数

	H13	H16	H19	H22
購買人口	413,958	457,764	441,643	415,167
吸引力指数	1.37	1.47	1.41	1.32

また、「婦人服」及び「買回品総合」における周辺市町村からの吸引率は、いずれも11市町村中8市町村で減少しており、吸引力の低下がうかがえる。

その主な要因は、他市町村における大型ショッピングセンターの充実により、相対的に那覇市への依存度が低下していることや、慢性的な交通渋滞の回避、中心市街地における商業施設の老朽化などが考えられる。

9-(3)-2表 那覇市の吸引率における前回調査との比較

近郊市町村	婦人服			買回品総合		
	前回調査(H19)(%)	今回調査(H22)(%)	増減	前回調査(H19)(%)	今回調査(H22)(%)	増減
与那原町	15.6	24.8	9.2	12.3	16.2	3.9
糸満市	24.8	27.4	2.6	21.9	24.6	2.7
八重瀬町	20.6	19.6	▲1.0	19.9	17.2	▲2.7
北谷町	9.7	8.3	▲1.4	7.7	5.2	▲2.5
浦添市	40.9	41.0	0.1	38.8	38.2	▲0.6
南城市	23.1	13.0	▲10.1	18.1	12.4	▲5.7
宜野湾市	22.7	22.0	▲0.7	18.7	19.8	1.1
南風原町	29.3	25.1	▲4.2	24.9	18.7	▲6.2
中城村	13.2	11.1	▲2.1	12.2	7.8	▲4.4
豊見城市	41.7	31.1	▲10.6	38.9	28.8	▲10.1
西原町	28.9	15.2	▲13.7	24.4	9.9	▲14.5